MFJ MOTOCROSS
ALL JAPAN MOTOCROSS CHAMPIONSHIP

’20全日本モトクロス選手権第5戦　第58回 MFJ GP-MX 大会

今季の全日本モトクロス選手権シリーズは、8月下旬から11月下旬での3ヵ月間に4戦開催されました、改訂版スケジュールの発表後も開催が検討されていた第4戦が、直前に開催断念となったことから、この第5戦がシーズン3度目の大会。第58回 MFJ GP-MX 大会として、熊本県の HSR 九州で熱い戦いが繰り広げられた。

阿蘇の外輪山を望むコースは、高低差がほとんどないフラットな土地にレイアウトされ、広くて長い雄大なスケールを誇る。これまでの基本レイアウトをある程度のベースとしながらも、各セクションのコーナーやジャンプが大幅に見直されたコースは、土日とも絶好の秋晴れに恵まれたことからドライコンディションが保たれた。各クラスの決勝が繰り広げられました、日曜日の最高気温は23度。来場者は2日間で2,951名となった。

IB OPEN

#15　KTM250SX-F

橋本俊平　ヒート１初優勝

ヒート１で優勝して全日本初表彰台が優勝となった橋本は、「最後の最後でトップになって本当にうれしい。スタートが決まったのが大きかったです」と、表彰台の頂上で満面の笑み。

CHILDCROSS

総合優勝争いは、3 周目に青木が永澤を抜いたが、レースが後半に入った 6 周目には再び永澤が逆転。永澤を青木が僅差でマークしたまま、10 周目の最終ラップを迎えた。そし再びパッシングに成功した青木が総合優勝。

KTM50SX　青木一馬

J-85　高橋生真　KTM85SX

初の表彰台

#66 高橋生真　KTM85SX

スタート 2 番手走行危なげなくジャンプも危なげなく安定した走行

ラスト 2 週トップのライダーが転倒そのまま 1 位でゴール

最高峰クラスの IA1 は、前戦に続いて決勝 3 ヒート制を導入。15 分＋1 周で 1 日 3 レースが設定された。

KTMuzushioracing　では　このレースはチャンス

IA-1　＃793　池谷優太　KTM450SX-F

1 ヒート　11　　2 ヒート 14　　3 ヒート 12　総合 15 位

IA-1　＃74　　池本凌汰　KTM450SX-F

1 ヒート　11　　2 ヒート 14　　3 ヒート 12　総合 12 位

KTM プロモーション活動報告書　　2020 年 11 月 21 日
GP：全日本モトクロス HSR 九州大会

2020 年 11 月 14 日 15 日　最高気温は 23 度。来場者は 2 日間で 2,951 名

KTM 福山　うず潮レーシング福山
KTM250SX-F　KTM65SX
KTMuzushioracingteam
チャイルド　優勝
ジュニア 85　優勝
IB オープンクラス　優勝
全種目のクラスの半分を制覇したおかげで観客の目立ち度は多くありました
また KTM 車両の良さをしていただく優勝でもありました
沢山の祝福もいっぱいいただき KTM50/85/250/450SX-F 車両は全日本の中で
無くてはならない KTMteam は全日本 MX 業界には存在していると感じました、
トップの IA-1 もトップは夢ではないと思います、これからの販売にも携わり多くのライダーが KTM で参加していただけるよう努力いたします。
レーシングサービスも行い、オフロード全般メカ的な質問が多くありまして適切な説明行いまた現場でのメカ作業を多くの人が見物されていました、